

第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会③）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和 7 年 3 月 5 日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール 5A
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区 街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
事務局 東日本旅客鉄道(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配付資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料 1：第 52 回委員会（2/5）部会①議事録案
- ・ 資料 2：第 52 回委員会（2/5）部会②議事録案
- ・ 資料 3：第 52 回委員会（2/5）部会③議事録案

2) 部会③

- ・ 次第
- ・ 資料 1：調査結果について

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 52 回委員会 (2/5) 部会①の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 52 回委員会 (2/5) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

3) 第 52 回委員会 (2/5) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会③

(1) 開会

- 第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会③を開会する。(事務局)

(2) 調査結果について

- 資料 1 について説明する。(港区)

<説明概要>

- 資料 1-1 の緑色枠箇所の工事の判断をお願いする。
- 資料 1-2、1-3 で No.60、62、68、70 のボーリング調査の結果を示す。
- No.60 は第 51 回高輪築堤調査・保存等検討委員会資料の再掲である。
- No.62 は土丹が検出されたことが特徴だが、これまでのボーリング調査でも薩摩台場の層でいくつか土丹が検出されている。
- No.68 の特徴としては、薩摩台場の層が砂質土を中心としている点である。
- No.68 位置のライナー試掘調査 (KP23-3) で、3 段目の北壁にコンクリートの壁構造、その下部に木板と木杭が確認された。コンクリートに付随するものであり現地では型枠と判断し、記録をとって調査を続行した。
- KP23-3 の 4 段目では 3 段の続きの木板とその下に不規則に組まれた石組を確認した。上部の 3 段目で確認したコンクリート構造物と同一の構造と考え、記録保存の上で

撤去し、ライナーを設置している。

- 4段目の西側から土の中に紛れ込んでいるような加工木が検出された。枕木の一部ではないかという意見もあるが、部分的にしか見えていないので確認できていない。原位置は保っておらず、流れ込んだ可能性が高いため、記録を取り、切断して取り上げた。
- 4本のボーリングについては、構造物に支障していない。No.70 で遺物が確認されたが、破片なので薩摩台場に関連するものではないと考える。(委員長)
- 口元管の部分はコンクリートを伴う鉄道関係の構造物の可能性が高いので、記録して撤去した判断は正しいと考える。(委員長)
- 資料 1-1 にある今回の仮土留と仮橋脚の施工は可として良いと考える。(委員長)
 - ← 異議なし。(委員一同)
 - 施工を可とする。(委員長)

(3) その他

＜全体会・部会①・部会②・部会③終了後＞

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 全体会での委員の見解の提示について、5・6街区は文化庁も関心を持っているので、議論を尽くしてもらいたい。部会①や②の結果についても承知した。(文化庁)
 - ← 全体会で委員の見解が示されたが、JR 東日本と協議を進めていくことになる。今後ともよろしくお願いいたします。(東京都)
 - ← 全体会の委員の見解について、港区教育委員会もこれまでその都度申し上げている通り、要望書を発出している。主旨は同じものと理解するので改めてお願いしたい。今後 JR 東日本から見解が出るということだが、港区教育委員会内でも共有したい。(港区)

(4) 閉会

- 次回委員会は4月9日(水) 10 時 00 分より、会場は JR 東日本現地会議室を予定する。本日はこれで閉会とする。(事務局)

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局) 第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局) 3つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会③

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) 調査結果について

- (港区) 資料 1 について説明する。資料 1-1 の緑色枠箇所の工事の判断をお願いする。資料 1-2、1-3 で No.60、62、68、70 のボーリング調査の結果を示す。No.60 は第 51 回高輪築堤調査・保存等検討委員会資料の再掲である。No.62 は土丹が検出されたことが特徴だが、これまでのボーリング調査でも薩摩台場の層でいくつか土丹が検出されている。No.68 ではライナー試掘調査(KP23-3)を行っている。No.68 の特徴としては、薩摩台場の層が砂質土を中心としている点である。KP23-3 ライナー試掘調査で、3 段目の北壁にコンクリートの壁構造、その下部に木板と木杭が確認された。木板と木杭はコンクリートに付随するものであり現地では型枠と判断し、記録をとって取り上げて調査を続行した。4 段目では 3 段の続きの木板とその下に不規則に組まれた石組を確認した。大きいものだと言頭大となる。3 段目のコンクリートと同一の構造物と考え、記録保存の上で撤去し、ライナーを設置している。4 段目の西側から土の中に紛れ込んでいるような加工木が検出された。ライナーの外側に続いていて、枕木の一部ではないか

という意見もあるが、部分的にしか見えていないので確認できていない。この部分に据え置かれたような感じではなく、土の中に紛れ込んでいるような印象であった。原位置は保っておらず、流れ込んだ可能性が高いため、記録を取り、切断して取り上げた。以上より KP23-3 では、記録を取って調査を終了している。

(委員長)

質問、意見はあるか。

(委員長)

4本のボーリングについては、構造物に支障していない。No.70 で遺物が確認されたが、破片なので薩摩台場に関連するものではないと考える。口元管の部分はコンクリートを伴う鉄道関係の構造物の可能性が高いので、記録して撤去した判断は正しいと考える。薩摩台場はもう少し下の層に何かがあるかもしれないと思っている。

(委員長)

資料 1-1 にある今回の仮土留と仮橋脚の施工は可として良いと考える。

(委員一同)

異議なし。

(委員長)

では施工を可とする。

(委員長)

他に何かなければ、次に進める

(3) その他

(委員長)

その他は何かあるか。

(委員長)

特になければ部会③を閉会する。

<全体会・部会①・部会②・部会③終了後>

(委員長)

最後に文化財行政からコメントをもらう。

(文化庁)

全体会での委員の見解の提示について、5・6街区は文化庁も関心を持っているので、議論を尽くしてもらいたい。部会①や②の結果についても承知した。

(東京都)

全体会で委員の見解が示されたが、JR 東日本と協議を進めていくことになる。今後もよろしく願いたい。

(港区)

全体会の委員の見解について、港区教育委員会もこれまでその都度申し上げている通り、2021 年 5 月 11 日に「高輪築堤の保存に関する要望書」を発出している。主旨は同じものと認識しており、改めてお願いしたい。今後 JR 東日本から見解が出るということだが、港区教育委員会内でも共有したい。

(4) 閉会

(事務局)

次回の定例委員会は、4月9日(水)10時00分より、会場はJR 東日本現地会議室を予定する。お忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。閉会とする。

以 上